エムイーテクニカ・ユーザーレポート

USER REPORT

VOL.8

Interview

佐藤裕也眼科医院
院長

佐藤 裕之先生

iCare IC200
手持眼圧計

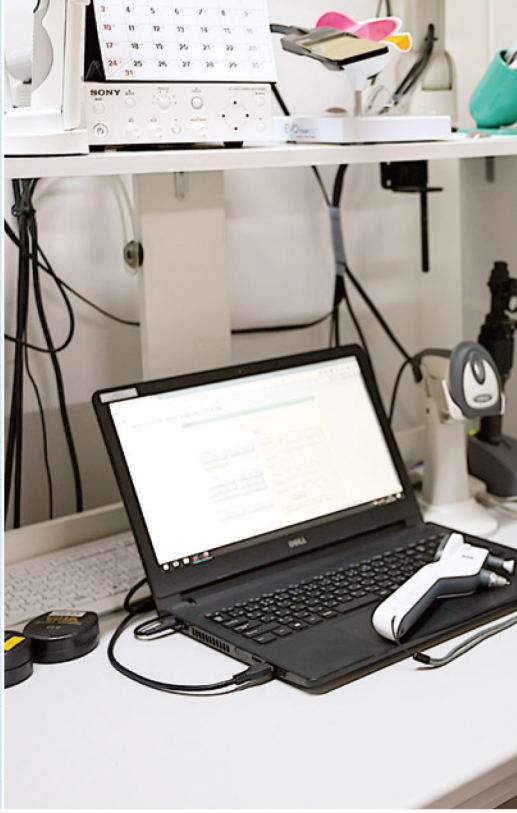
アイケアIC200手持眼圧計は、点眼麻酔不要のリバウンドテクノロジーを用いたアイケア社手持眼圧計の最上位モデルです。座位、仰臥位だけでなく、プローブを下方に向けた任意の角度での測定を可能にし、さらなる使いやすさを実現しています。プロフェッショナルのための眼圧計アイケアIC200を日々活用されているドクターにお話しを伺いました。

M.E.Technica
株式会社 エムイーテクニカ

USER REPORT

エムイーテクニカ
ユーザーレポート

VOL.8



ユーザー紹介　佐藤裕也眼科医院 様

佐藤裕也眼科医院は平成元年、当時日赤病院に勤務していた現在の理事長　佐藤裕也先生が独立し仙台市青葉区で開院。以来36年、「高度医療の積極的な導入」、「患者様との信頼の確立」などを基本理念に掲げ、地元に根付いたクリニックとして診療に取り組んできました。21世紀となり患者様との関わりが変化していく中、新たに「積極的な医療情報の開示」、「コミュニケーションの向上」、「インフォームドコンセントの充実」を基本理念に加え、積極的に患者様と関わる医療の実現をめざしています。今回は院長の佐藤裕之先生に、実際の医療現場でIC200がどのように活用されているかお話を伺いました。

IC200は患者様にストレスをかけることなく効率的に眼圧を測定できる

Q これまでアイケア以外の手持眼圧計は使用されていましたか？

はじめは他社製の手持眼圧計を使っていました。ノンコンタクトトノメーター（以下NCT）のように患者様に診察室まで来ていただく必要がないので重宝していましたが、点眼麻酔が必要になるため、患者様の負担になっていたと思います。また、麻酔を点眼してから測定することになるので、診察の効率にも影響があったと思います。ただ、持ち運びが自由でどこでも使える手持眼圧計には高い利便性があるとも考えていました。

Q IC200導入のきっかけを教えてください。

アイケア社眼圧計を当クリニックで導入したきっかけは、他社製眼圧計に換えてアイケアPRO（既に販売終了）を使ったことです。アイケアPROはディスポーザブルプローブがわずかに目にあたりますが、プローブの先端が1.4mm（IC200は1.7mm）しかないので痛みはまったく感じません。したがって点眼麻酔が不要で、患者様にストレスを与えることがないのです。また、測定値に誤差がなく、眼圧が正確に測定できていました。手持眼圧計の使いやすさは十分わかっていたので、本格的な導入に迷いはなかったですね。そして現在は、アイケアPROの後継機であるIC200を使っているというわけです。

Q 院内にある眼圧計がNCTのみでは不便だと思われますか？

それはとても不便ですね。まずNCTは、患者様に機器のあるところまで移動していただかなければなりません。それに反してIC200は患者様のところへ行ってすぐに測れるので、NCTに比べたら3倍くらい効率が良いのではないでしょうか。また、当クリニックは2階に検査室、3階に病床があるのですが、IC200なら入院患者様が1階まで降りてくる必要がありません。そして往診では、当然のことながら手持眼圧計しか使えません。患者様が寝たきりである場合や自宅にいらっしゃる場合には、IC200一択なのです。

また、NCTはエアがまつげに触れてしまうと眼圧が高く出る傾向にありますが、IC200ならその心配がありません。ですからNCTで眼圧が高く出た時には、IC200で測り直しているくらいです。患者様の中には突然出てくるエアが怖いという方もいらっしゃいますし、お子さんの場合は動かないように頭を押さえる必要があるなど、NCTは患者様にストレスをかけてしまう場面が多いのです。

加えてNCTはメーカーによる定期的なキャリブレーションが必要ですが、IC200であればそのような必要がありません。これもIC200のいい点ですね。

Q IC200を使用して実際どのように感じましたか？

当クリニックの場合には1階はもちろん、3階の病床にもサッと持っていくことができてとても便利です。患者様の体勢も関係なく、座っていても寝ていても、立っていても測れます。また、測定時に点眼麻酔の必要がなく、患者様にストレスを与えずに測定できるところも重宝しています。IC200は測定ごとにプローブを換える必要がありますが、時間は大してかからないので非常に効率良く眼圧測定ができています。

佐藤裕也眼科医院 院長
佐藤 裕之先生

往診時や寝たきりの患者様に 4台のIC200がフル稼働

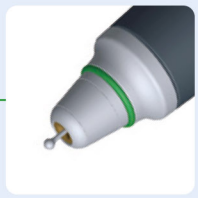
Q 現在のIC200の使用状況について教えてください。

現在は、分院を含め4台のIC200を使用しています。使う場面は当クリニックの外来や病床、往診での眼圧測定です。とくに往診クリニックからよく依頼され、こちらでも大活躍しています。往診で訪問する患者様はやはり寝たきりの方が多いので、測定する時の角度を気にせず使えるIC200は重宝しています。機能面も過去データが履歴として残っているのでとても使いやすい。カルテに記入を忘れた時でも、すぐに見返せます。機器としての通常のメンテナンスは必要ですが、NCTのようにメーカーによるキャリブレーションが必要ないのはとても気に入っています。

Q 旧機種アイケアPROと比較してIC200はいかがですか？

アイケアPROは水平と垂直方向でのみ測定できましたが、IC200は角度フリーで測定できるのが良い点です。IC200なら測定の角度を気にする必要はありませんが、測定可能かどうかを赤と緑のLEDで表示してくれる機能は安心感があります。前の機種に比べて、プローブが抜けにくくなって落ちないのもスタッフの皆さんには好評です。

KEY FEATURES
主な特徴



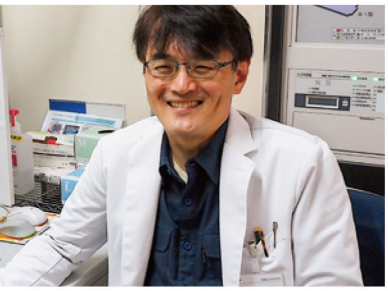
**iCare®
イージーポジショニング**
測定位置のサポート機能
正しい測定位置を赤と緑のLEDで知らせます。

**iCare®
イージーナビ**
ナビゲーションボタンと大型のディスプレイを採用し、直感的で快適な操作を可能にしました。

**iCare®
モードセレクト**
測定モード切り替え機能
シングル・連続の2つの測定モードが選べます。

測定の効率化や院内感染の防止に
IC200はとても有用だと思います

Q とくにIC200が有用と感じる場面や症例はありますか？



繰り返しになってしまいますが、寝たきりの患者様の眼圧を測定する場合や往診の場合にIC200はとても有用だと感じます。とくに当クリニックには入院病棟があります。ベッドに寝ている状態でもサッと眼圧が測定できるのは、これ以上ない特長といっても良いでしょう。大きなメリットとしては、測定の効率化と院内感染の防止効果です。当クリニックに来院される患者様は1日に200～250人で、その半数が眼圧を測定します。とくに40歳以上の患者様は必ず眼圧を測定します。NCTでも眼圧は測れますが、IC200なら患者様にいちいち来ていただくのではなく、こちらから行ってどこでもすぐに測れる。1日100人以上測定するとなると、とにかく効率が問題になります。測定の効率は患者様をお待たせする時間に影響するからです。IC200ならとても効率良く眼圧測定ができます。もう1つのメリットは院内感染の防止効果です。コロナ禍では外来と病棟で動線を分ける必要がありました。そのような時にもIC200はとても便利でしたね。

Q 患者様の反応はいかがですか？

NCTで噴出するエアが怖いと言う患者様には大変好評です。また、点眼麻酔はしみるので、とくにお子さんは麻酔をしたら怖がって測らせてくれないんです。IC200ならアッという間に測定が終わってしまいますから、そんなこともありません。座席やベッドを移動することなく、すぐに測定が終わるのも患者様には好評だと思います。

Q スタッフの方の評価はいかがですか？

IC200に対する評価は高いですね。まずNCTに比べて効率的に眼圧測定できるのが好評です。NCTのように顔（顎）を固定させる必要がないので、小さなお子さんも効率的に測定できます。また、眼圧測定は入院患者様に対しても頻繁に行いますから、ベッドから起きあがらずに測定できることも高評価につながっていると思います。

Q IC200の問題点や改善点、今後に期待することを教えてください。

IC200の機能面にはとても満足しています。今後に期待、もしくは強いて言えばですが、電池交換がしやすいといいですね。アイケアPROは充電式でしたが、IC200は乾電池式になっています。これはバッテリー切れになっても乾電池ならどこでも入手が可能で、すぐに電池を換えられるメリットはありますが、ちょっとだけ電池交換がしにくい。ここだけ改善をお願いしたいです。

Q IC200導入を検討されている先生に一言お願いします。

現代は、なにか問題が発生してクリニックとしての評判が下がったりすると取り返しがつきません。クリニックの経営者として患者様との関わり方や診察の効率を気にすることはもちろんですが、院内感染にはとくに注意すべきだと考えています。病気を治すためのクリニックに来て、他の病気に感染したのでは本末転倒だからです。IC200は使い捨てのプローブで眼圧測定を行うので、測定時に感染する可能性がとても低くなっています。IC200にはさまざまな特長がありますが、院内感染防止の観点からもアイケアIC200手持眼圧計の導入をおすすめします。

INFORMATION

医療法人 桑友会　日本眼科学会認定眼科専門医
佐藤裕也眼科医院
YUYA SATOH

〒980-0022　宮城県仙台市青葉区五橋1-6-23
五橋メディカルセンタービル内
TEL：022-227-6752　https://sendai-lasik.jp/

M.E.Technica
株式会社 エムイーテクニカ

〒335-0002　埼玉県蕨市塚越1-8-22
TEL 048-420-9604　FAX 048-420-9606
■札幌 ■仙台 ■名古屋 ■大阪 ■福岡
www.metechnica.co.jp

製品の仕様及び価格は予告なく変更することがあります。

製造販売業許可番号：11B2X10068